

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】令和6年5月31日(2024.5.31)

【公開番号】特開2024-40330(P2024-40330A)
 【公開日】令和6年3月25日(2024.3.25)
 【年通号数】公開公報(特許)2024-054
 【出願番号】特願2024-18065(P2024-18065)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 1 9 / 1 1 9 (2 0 1 4 . 0 1)

H 0 4 N 1 9 / 1 7 4 (2 0 1 4 . 0 1)

H 0 4 N 1 9 / 7 0 (2 0 1 4 . 0 1)

10

【F I】

H 0 4 N 1 9 / 1 1 9

H 0 4 N 1 9 / 1 7 4

H 0 4 N 1 9 / 7 0

【手続補正書】

【提出日】令和6年5月16日(2024.5.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

コーディングされたビデオストリームを復号するために少なくとも1つのプロセッサによって実行される方法であって、前記コーディングされたビデオストリームは、タイルを含むサブ画像のコーディングされたバージョンを含み、前記方法は、前記コーディングされたビデオストリームを受信するステップと、前記コーディングされたビデオストリームを復号するステップと

20

30

を含み、前記コーディングされたビデオストリームは、タイル境界をまたいだ任意の処理及び予測が拒否されるかどうかを示す第1のフラグをさらに含み、

復号する前記ステップは、前記タイル境界をまたいだ前記任意の処理及び前記予測が拒否されないことを示す前記第1のフラグの値に基づいて、前記タイル境界をまたいで実行されるループ内フィルタリング動作が許可されるかどうかを示す第2のフラグをシグナリングするステップをさらに含む、方法。

【請求項2】

前記第1のフラグは、full_parallel_decoding_enabled_flagである、請求項1に記載の方法。

40

【請求項3】

前記コーディングされたビデオストリームは、インター予測動作が前記タイル境界をまたいで実行されるかどうかを示す第3のフラグをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

復号する前記ステップは、前記タイル境界をまたいだ前記任意の処理及び前記予測が拒否されないことを示す前記第1のフラグの前記値に基づいて前記第3のフラグをシグナリングするステップをさらに含む、請求項3に記載の方法。

【請求項5】

前記第3のフラグは、inter_prediction_across_tiles_enabled_flagである、請

50

求項4に記載の方法。

【請求項6】

復号する前記ステップは、インター予測動作が前記タイル境界をまたいで実行されうることを示す前記第3のフラグの値に基づいて、インター予測動作がタイルグループ境界をまたいで実行されうるかどうかを示す第4のフラグをシグナリングするステップをさらに含む、請求項4に記載の方法。

【請求項7】

前記第4のフラグは、`inter_prediction_across_tile_groups_enabled_flag`である、請求項6に記載の方法。

【請求項8】

復号する前記ステップは、前記タイル境界をまたいだ前記任意の処理及び前記予測が拒否されないことを示す前記第1のフラグの前記値に基づいて、ループ内フィルタリング動作がタイルグループ境界をまたいで実行されうるかどうかを示す第3のフラグをシグナリングするステップをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項9】

前記第3のフラグは、`loop_filter_across_tile_groups_enabled_flag`である、請求項8に記載の方法。

【請求項10】

請求項1～9のいずれか一項に記載の方法を行うように構成されたデコーダ。

【請求項11】

少なくとも1つのプロセッサに、請求項1～9のいずれか一項に記載の方法を実行させるためのコンピュータプログラム。

10

20

30

40

50